

2024年3月27日

各位

会社名 FDK株式会社
代表者名 代表取締役社長 長野 良
(コード番号: 6955、東証スタンダード)
問合せ先 経営企画室長 柳田 幸一
(TEL. 03-5715-7400)

通期連結業績予想の修正、 特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年4月26日に公表した2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2024年3月期において、特別利益および特別損失を計上する見通しとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	65,000	500	400	100	2.90
今回修正予想(B)	63,000	500	600	100	2.90
増減額(B-A)	△2,000	0	200	0	
増減率(%)	△3.1	0.0	50.0	0.0	
(ご参考) 前期実績(2023年3月期)	62,784	789	851	318	9.22

2. 修正の理由

2023年4月26日に公表しました業績見通しにおける想定に対し、売上高は電池事業のニッケル水素電池と電子事業の各種モジュールの売上減により減少する見込みですが、営業利益は売上減の影響を経費削減や販売価格の見直し等で補い、想定どおりの見込みです。一方、経常利益は受取利息や為替差益などの営業外損益の好転が加わったことにより、増加する見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は下記のとおり特別利益および特別損失の計上により、想定どおりの見込みです。

つきましては、2023年4月26日に公表しました2024年3月期連結業績予想数値を修正することといたしました。

3. 特別利益(負ののれん発生益)の計上について

当社は、2023年12月1日に公表しました「持分取得(子会社化)および特別利益の発生に関するお知らせ」および2024年3月1日に公表しました「持分取得(子会社化)完了に関するお知らせ(開示事項の経過報告)」のとおり、包頭富士電気化学有限公司の出資持分取得により、当第4四半期連結会計期間に負ののれん発生益として517百万円の特別利益を計上する見込みです。

4. 特別損失(減損損失)の計上について

当社において、開発・量産を進めておりますSMD対応小型全固体電池(以下「全固体電池」)につきましては、サンプル展開により特定のお客様から一定の評価を得ることが出来ました。

しかしながら、従来の製品仕様では、汎用性が低く多くのお客様に対する要求性能を満足出来ないため、当初見込んでいた収益性が今後得られない可能性が高くなりました。

このため、今後、利益貢献が期待できる汎用性の高い製品仕様として、充電特性向上、容量アップ等開発を集中し、リソースをシフトすることとしました。こうした方向性を反映し、将来計画を見直したことがか

ら、「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、全固体電池にかかわる固定資産について、当第4四半期連結会計期間において帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として約6億円を特別損失に計上する見込みです。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

以 上